

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2003/03/15 Vol. 126 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX
45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 15 年第 1 回定例会報告 (2)

いつもお世話になっております。印西市議会(3月定例会)は、最終日の25日(火曜日)を残して、休会中です。今回は、3月議会での私の一般質問と市当局の回答を中心にご報告をさせていただきます。

2/26(水曜日)に、一般質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

2. 校庭整備の方針について

- (1) 今年度までに行った校庭整備は、満足の得られるものであると評価できるのか。その根拠はどのようなものか。
- (2) 学校の砂塵対策としてスプリンクラーが設置されているが、効果は充分であるとはいえないと考える。印旛村平賀小学校においては周辺への防砂対策として校庭を芝生化した。市町村合併を考えるなかで、印西市では芝生化をどのように評価し、検討を行っているのか。また、前例がないと検討されないものか。

(回答/教育部長)

今年度までに行った校庭整備は満足の得られるものであると評価できるのか。についてお答えします。校庭整備につきましては、児童生徒が学校生活において、安全に過ごすことができ、学校授業の円滑な運営を図り、また近隣の住宅地への砂塵の防止も含めてすすめてきたところでございます。主な整備内容としましては、岩瀬砂、山砂、グリーンダスト等を混合し、適度に固めると共に散水栓を設置し、砂埃の発生を防ぐものでございます。整備前の校庭は、砂埃の立ちやすい赤土が殆どでありましたので、飛散しづらい重い粒子を使った舗装や、散水設備を整備したことにより、砂塵の予防や軽減化を図るという点で、効果がでていていると考えております。

次に(2)の芝生化をどのように評価し、検討を行っているかについてお答えします。議員のご質問にもありますように、印旛村の平賀小学校においては、校庭の芝生化を取り入れていると伺っております。校庭の芝生化につきましては、温暖化抑制の面でも地球環境の保護や子どもたちの意識の啓発に役立つものと考えます。しかし、その反面、芝生を維持する為には、散水、施肥、芝刈、除草、補修といった作業が必要であり、**維持管理に多額の費用や労力がかかるという問題も**ございます。校庭整備の手法を検討するためには、その整備目的からも校庭の芝生化は有効な方法の一つではありますが、維持管理に要する費用や労力、工事期間や養生期間など子ども達が校庭を利用できない期間などを考慮し、飛散しづらい舗装材を混合して、転圧する整備手法を採用して参りました。また市内の学校では、いくつかの学校で部分的に芝生を植えている学校がございしますが、地域の皆様や保護者の方々のご協力を得られないと維持管理できないという難しい面もございしますので、それらの課題も踏まえて校庭の芝生化については検討していかなければならないと考えております。

<ぐんじとしのりより/解説>

一般質問において、校庭整備の方針をとりあげようと考えたのは、居住者からご要望をいただいたためです。「学校からの砂埃が昨年までもあったように、これからの季節では考えられる。校庭を芝生にすれば砂埃は立たなくなるし、生徒にも喜ばれるはず。」知り合いの代議士がこの件に関して推進しているのので、市の考えを聞いてみようと思いました。

芝生化のメリット、デメリットについては、私の質問に対する回答のなかで教育部長より答弁されていたので割愛しますが、新聞記事等では芝生化への取り組みを紹介し、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会スポーツ・青少年分科会でも、体力が低下している子どもがもっとスポーツに親しめるよう、小・中学校の校庭を芝生化すべきとの報告があり、97年度から2001年度の5ヵ年でのべ202校が芝生化を行ったそうです。私は、今すぐに印西市として芝生化を推進すべきかどうかの判断を求めるものではありませんが、学校の砂塵対策としては有効だとは思いますが、必要であれば地域として検討し要望をあげていくべきだと思います。(芝生と言うとお金と手間がかかると思われがちですが、それはサッカー場やゴルフ場のような芝生をつくらうとするからです。私は、芝生を使った「原っぱ」をイメージしています。少々雑草が入っていても、はがれていても、いいのではないのでしょうか。スポーツターフのような精度はなくても、強くても手間のかからない芝生が一番だと考えています。)

尚、校庭の芝生化に関して、「地域の協力」があれば校庭の芝生化をする考えはあるのかという私からの再質問に対しては、教育部長は「検討をする」旨の答弁をされています。

3. 牧の原駅圏の将来について

- (2) 郵便局の誘致に関して、どのような進捗か。
- (3) 医療施設の誘致に関して、どのような進捗か。

(回答/総務部長)

住宅環境が整うと言う事は、住んでいる身近な場所にいろいろなお店や公益的施設、医療施設などが配置され、地域特性のある文化コミュニティが形成されるという、いわゆる「コンパクトタウン」のまちづくりだと考えております。議員も同じようなお考えのことからのご質問かと思っております。しかしながら、牧の原駅圏においては、現状としましては、このような住宅環境の整備が進んでいない状況であります。

ご質問の郵便局の誘致につきましては、郵政事業の公社化や民間参入の実現など、郵政事業につきましては、まだまだ不透明な部分があることから、なかなか、設置の具体的な話まで至らないのが実情でございます。

次に医療施設の誘致ですが、現在、原4丁目1番に計画されております診療所につきましては、アバンドーネ原1番街の賃貸住宅に隣接する場所に計画されております。施設数は1施設となっております。進捗状況でございますが、昨年の10月下旬に賃借人をインターネット等により一般の診療科目を公募し、11月上旬に公募の結果、眼科1名の応募があり、審査により決定しております。その後、11月下旬に予約契約を締結しております。今後の予定でございますが、2月下旬から4月下旬にかけて都市基盤整備公団により施設のスケルトン方式による工事が予定されております。尚、スケルトン方式とは、壁、屋根、床、外構等の工事で、内装工事および機材等については賃借人が行うことをいいます。また、4月下旬から7月下旬にかけては賃借人による内装工事、機材搬入および従業員の教育を経て、7月上旬に賃貸借本契約を締結し、7月下旬にオープンと聞いております。

ぐんじとしのりより

到底納得のいく回答ではありませんでした。私は牧の原の一住民として、現状を訴え、できるだけ早く改善をしていくように求めました。郵便局を含む金融機関に関しては早期の誘致を、また医療施設に関しては、当初は小児科を含む内科であった予定が「眼科のみ」という結論に至りましたが、今後の誘致を早急に求めていきたいと思っております。併せて施設の誘致に関しては皆様のお力添えもよろしくお願い致します。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き3月議会のご報告を中心にさせていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

ぐんじとしのり